

優しい風の吹く街

第28号 2010年 10月発行



市民ネット宝塚

7月に起こった中学校生徒宅火災事件は、当事者、関係者は勿論のこと、地域住民の心の被害も大きかったといえます。関係者だけでなく私たちも、なぜ救えなかったのかという自責の念に苦しみ続けています。今議会では、「中学生に関する諸課題」解決のための本市の取り組みに焦点をあてました。

活動報告～抜粋～



7月		9月	
21日	総合計画特別委員会	2～4日	民主党近畿ブロック自治体議員会議
23日	憲法学習会	10日	阪神政策研究会
27～28日	教育課程編成講座	18日	甲子園大学・スポーツと心理学講座
		25日	男女共同参画政策推進研修会
8月		9月10日	9月定例会市議会
1～2日	母と女性教職員の会全国集会	～	
3～4日	両性の自立と平等の教育研究会	10月14日	
20日	子ども議会		
25日	文教生活常任委員会		
30日	総合計画特別委員会		



第17回『駅前議会』2010/09/11



報告「議員の無免許運転」
「中学校生徒宅火災事件」
「議会基本条例」 について



トークタイム
議員に求められる資質とは

今回は、新しい取り組みとしてグループトークを中心に行いました。意見が出るか心配もありましたが、50数名の参加者の熱いトークが繰り広げられました。みなさんと「宝塚」や「議員」に対する意見を交流することができ、とても充実したトークタイムになりました。

☆ご参加ありがとうございました☆

- 私たち市民ネット宝塚は、
- ①開かれた議会めざす
 - ②市民への説明責任を果たす
 - ③市民との対話を重視する
 - ④議員としての資質を向上させる
- を目標に頑張っています。



これからもご意見等をお聞かせくださいませようどうぞよろしくお願いいたします。

9月定例会市議会報告 一般質問及び答弁～抜粋～

1. 安心安全のまちづくりについて

高齢者や子どもが被害となる「ひったくり」「露出」等、許せない犯罪が多発している。被害に遭った人は、心に大きな傷を負い、その後の生活にも影響がでて事態は深刻である。

宝塚は安全安心のまちなのか、市としての現状認識とその対策は。

〈市長 答弁〉

安心メールで注意喚起。「アトム110番車」442台、「子ども110番車」71台、「シルバー110番車」200台が市内で見守り活動を行っている。宝塚警察署にも巡回パトロールの強化を要請。市民の防犯意識を高め、安全安心なまち宝塚の実現に努めていく。



2. 特別支援教育について

- ①特別支援教育コーディネーターの活動の成果と課題は。
- ②教育活動の場面に介助員が配置されているが、充足率、労働条件、資質向上を図るための研修体制は。

〈教育長 答弁〉

- ①現在、学校園では校園内委員会を設置し、支援の必要な子ども一人ひとりについて状況を把握し、組織としてより効果的な支援ができるよう協議している。県教育委員会に専任配置を強く要望している。
- ②学校からの要望数に対して76%の充足率となっている。資質向上のために「障がいの理解と子どもとのかかわり方について」の研修や介護の基本の実技講習も行った。介助員の休息時間の確保なども円滑な体制が図れるよう学校園と協議し改善していきたい。

〈2次質問〉

しょうがいのある子どもや配慮や支援の必要な子どもが、教育活動である「中学校の部活動」に参加できにくいという状況をどう考えているのか。

〈学校教育部長 答弁〉

中学校の部活動については始業前や放課後に行われている。いわゆる課外活動。介助員がその支援をしていくことは、勤務時間の関係から困難。支援ボランティアの活用ができないか今後検討。

要望

部活動から多くのことを学ぶのであるから、ほかの子どもと同じように「学ぶ権利」の保障を！

3. 「中学生に関する諸課題」解決のための環境整備について

- ①「市立中学校生徒宅火災事案」について
 - ・子ども家庭支援センターや「御殿山ひかりの家」の機能強化、人的配置増については。
 - ・家族の生活支援の方向性は。
 - ・「24時間体制の悩み相談」の進捗状況は。
 - ・「子どもシェルター」の概要と方向性は。
- ②中学校への入学後、新しい人間関係等で、小学校からの移行時に不応をこす状況、いわゆる「中1ギャップ」が顕在化している。「中1ギャップ」克服に向けた本市での取り組みは。



〈市長 答弁〉

- ①・家庭児童相談室を本庁舎内に移転し、家庭相談員を1名増員する。御殿山ひかりの家は、24時間子育て相談、ショートステイや緊急一時保護なども付加した機能を担い、市の子育て支援を補完する役割を果たしている。
 - ・当該世帯については、適用できる生活支援制度を紹介し、医療費の減免手続き等の支援を行っている。

〈教育長 答弁〉

- ①・青少年センターでの10～19時開設を24時間体制に拡充。指針及び啓発カードづくりを進める。
 - ・虐待や家庭問題等の避難を求めている児童生徒を保護するため、受け入れ場所を提供し一時保護を行うとともに、関係機関と協議のうえで問題解決を図る。
- ②入学後、コーチングサポーターを必要な生徒に配置。子どもに寄り添うこととし、「中1ギャップ」の克服につながるよう小中学校間の交流や連携がさらに進むよう取り組んでいく。

〈2次質問〉

- ①24時間相談の対応マニュアルは？
- ②将来的には、第三者機関にゆだねるべき方向性がベストではないか。市全体の子ども施策として取り組んでほしい。

〈学校教育部長 答弁〉

- ①現在作成中である。保護を求めるケースでは、関係機関で必要な協議を行う。

〈副市長 答弁〉

- ②「子どもの一時避難所事業」でも、柔軟な対応や専門的な支援ができるかどうか検討を進める。第三者機関で実施することも可能性のひとつ。

4. 教育環境整備について

子どもの命や健康を守る教育環境について

- ①本市での熱中症や紫外線対策は。
- ②適切な環境でのプール指導ができているか。
- ③校舎の耐震化や子どもたちからの強い改善要望があるトイレの課題は。

〈教育長 答弁〉

- ①各学校園で水分補給や休憩をとる等の対応や熱中症環境保健マニュアルを配布し周知を図った。
- ②プール指導は、水温23度を目安とし、夏休みの水の事故を防ぎ安全で楽しい活動ができるよう、6月中旬から10時間程度行っている。
- ③耐震化率は現在66.7%、完了は平成27年度末の予定。トイレの改修は校舎の大規模改修とともに順次行っているが、必要に応じた修繕や洋式便器への改善は暫定措置として実施する。

〈2次質問〉

プール開放指導員の事前教育の徹底は。

〈社会教育部長 答弁〉

現在は指導員業務委託を行い、水質管理、遊泳前や遊泳中の注意などを徹底させている。救命講習の受講も義務付け、安全確保に努めている。

集団生活の場である学校園では、子どもの命や健康を守る教育環境づくりが常に求められている。今後は従来の学校の慣例にとらわれることなく、行事の時期を見直す等、適切で柔軟な対応を！

子どもの一時ひなん事業 10月12日 スタート

- ①子ども本人が青少年悩み相談（24時間子ども専用）に電話する。
- ②緊急避難を要すると判断した場合。
- ③受け入れ場所で保護。必要な協議。

☆今議会で、実施のための補正予算可決☆

子宮頸がん予防 ワクチン助成が決定

- 対象**：中学2年生の女子（本年は3年生も）
- 実施**：2010年11月1日から
- 助成金額**：1回につきワクチン費用の2分の1
上限8000円（3回まで）
- ◎ 生活保護世帯等は3回まで全額助成。

活動トピックス

文教生活常任委員会行政視察

- ・ 栃木県宇都宮市 2010/08/09
小中学校の相互乗り入れ授業等、連携強化が進んでいました。
- ・ 山形県ココニー協会 2010/08/10



就労移行支援の福祉工場

ローカルガバナンス学会研究会出席

テーマ：「新しい公共」の行方～地域の視点から～
公共政策に関する色々な提言があり、いい勉強になりました。



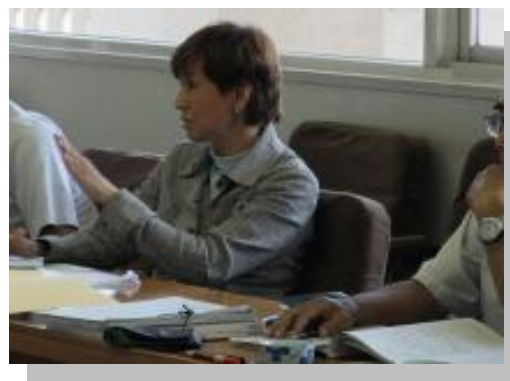
講師の方々と（山梨学院大学にて）
（後列左より、今井都南雄教授、小山議員、江藤俊昭教授、西寺雅也教授、伊福議員。前列、北野と寺本議員）
2010/07/31

～風のココロ～

「長尾山古墳」発掘調査の結果、4世紀初頭の全長39mの前方後円墳であることが分かり、国内最古級の巨大「粘土槨」がほぼ完全な状態で発見されました。今の環境では、ひつぎを開けられないので埋め戻すことになりましたが、また公開される日が来るといいですね。



5本の円筒埴輪が検出された北クビレ部



2010/09/21

◇発行人◇ 北野さと子
◇連絡先◇
〒665-0034 宝塚市小林2丁目 12-27-209
Tel&Fax 0797-73-4556
ホームページ <http://www.kitanosatoko.com/>